

第23回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

・リニア工事による影響調査の情報や住民意見を共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行うことを目的に、JR東海、施工業者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が3月23日に交流センター於いて、関係者50名が出席し開催されました。以下に概要をお知らせします。

① (主)松川インター大鹿線改良工事等について (長野県より)



- ・(主) 松川インター大鹿線の通行支障箇所の改善要望について、1月下旬に JR 東海、大鹿村、中川村、長野県の4者で現地調査を行い、次年度についても協議を行う説明がありました。
- ・(主) 松川インター大鹿線について、下記事項を検討・実施する説明がありました。
- ・写真①安全対策工事：支障竹木伐採による視距離確保完了
- ・写真②道路改良工事：二軒屋（調査・測量中）
- ・写真③道路改良工事：半の沢道路拡幅工（沈砂池・地下排水工施行中）
- ・写真④防災対策工事：四徳大橋西（調査・測量計画中）
- ・その他トンネル工事：落合トンネル（調査・測量設計中）

② 南アルプストーンネル工事について

【小渋川非常口】

- ・小渋川非常口は、本線トンネルの掘削（品川方）に向けた準備作業を行っており、準備が整い次第、本坑掘削を開始します。
- ・先進坑（小渋川斜坑―釜沢斜坑間）は、1月17日から発生土の運搬路として運行を開始しています。

【除山・釜沢非常口】

- ・除山非常口は、3月14日に斜坑掘削が完了し、先進坑（品川方）の掘削をしています。
- ・釜沢非常口は、先進坑（釜沢斜坑―除山斜坑間）品川方の掘削を進めております。なお、今後、先進坑等で前方の地質が確認出来た際には、本坑掘削に着手します。
- ・掘削した発生土のうち、事前由来重金属等の溶出試験の基準値を下回った発生土については、高森町事業および伊那IC工業団地拡張事業に活用しています。
- ・発生土仮置き場A（除山横）は、置き場を拡幅する造成工事を行っています。
- ・発生土仮置き場B（三正坊）は土砂の搬入・搬出工事を行います。



小渋川先進坑 坑内状況



釜沢非常口 施工状況



発生土仮置き場 A



発生土仮置き場 B

③ 伊那山地トンネル（青木川工区）工事について

【青木川非常口】

- ・青木川非常口は、本線トンネルの掘削を進めております。また中央構造線周辺に向けた水平ボーリングによる前方の地質の確認を行い、より安全にトンネルを掘削する工法及び
- ・発生土は、高森町事業及び伊那IC工業団地拡張事業に活用していただいています。
- ・深ヶ沢地籍の発生土置き場（青木川）では、護岸工及び発生土の受け入れ造成工を実施しています。



青木川本坑 施工状況



発生土置き場（青木川）

④ 工事工程及び工事用車両台数について

■工事用車両通行台数

月別日平均 往復台数		深ヶ沢	下青木 薬師堂前	沢戸橋	福德寺	大鹿村 役場前	渡場 交差点
資機材運搬車両 JRI工事による	R3.12実績	3.1	27.9	28.1	13.2	37.9	29.0
	R4.1 実績	4.1	28.4	36.5	14.0	29.1	18.1
	R4.2 実績	2.2	26.0	44.8	0.0	24.8	18.2
	R4.3実績	0.2	23.0	43.1	0.0	24.1	19.9
	R4.4~R4.6 予定	10.0	40.0	105.0	0.0	80.0	65.0

※「月別日平均」とは、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

※R4.3の台数は3月15日までの実績台数です。

■発生土運搬車両台数

月別日平均 往復台数		深ヶ沢	下青木 薬師堂前	沢戸橋	大鹿村 役場前	半の沢	渡場 交差点
発生土運搬車両 JRI工事による	実績	R3.12	0.0	26.7	18.3	45.0	45.0
		R4.1	0.0	24.2	17.4	41.6	41.6
		R4.2	34.3	27.1	21.9	49.0	49.0
		R4.3	121.0	42.0	28.7	70.7	70.7
	予定	R4.~R4.6	60.0	120.0	120.0	240.0	240.0
発生土運搬車両 高森町への	実績	R3.12		78.9	100.5	179.4	179.4
		R4.1		105.0	105.9	210.9	210.9
		R4.2		104.6	77.3	181.9	181.9
		R4.3		123.0	92.3	215.3	215.3
	予定	R4.~R4.6		150.0	150.0	300.0	300.0
への発生土運搬車両 半の沢道路改築事業	実績	R3.12			20.9	20.9	20.9
		R4.1			82.7	82.7	82.7
		R4.2			103.7	103.7	103.7
		R4.3			114.3	114.3	114.3
	予定	R4.~R4.6			200.0	200.0	200.0
R4.4~R4.6 工事用車両総台数		70.0	310.0	575.0	820.0	840.0	605.0

※「月別日平均」とは、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

※R4.3の台数は3月15日までの実績台数です。

⑤ 中部電力パワーグリッド工事について

【送電線工事について】

- 本体工事は、No.26 鉄塔の基礎工事中です。
- 4月から No.24 モノレール基地および鉄塔の仮設工事、No.29 鉄塔の組立工事に着手します。
- 準備工事（伐採）は、4月～7月に No.26～27～28 間の送電線下伐採を予定しています。
- No.29 鉄塔の組立工事に伴い、特殊車両（80 t オールテレーンクレーン）が、計 2 日間、152 号線を夜間（22 時～5 時の間で）通行します。



No.26 基礎工事の様子



No.29 基礎工事完了

⑥ 観光協会から

- 土曜日運休を今後5年間継続すると、12.7ヶ月、閑散期（12月～3月）以外の土曜日を運休すると、8ヶ月工事が延伸する試算となる。土曜日運休により平日の運搬台数が増えることで、村内高齢者の村外通院等の問題が起きることは軽視できない一方、一定数の高齢者が村内観光産業により直接・間接的に利益も得ている説明がありました。
- 観光協会として、試算した土曜日運休により地域住民へ負担をかけてしまうが、リニア開業後の地域観光産業が継続できるように土曜日運休を求めることにご協力を頂きたい説明がありました。
- また工期が半年以上延伸することに嫌悪感を抱く人は必ずおり、土曜日運休を求める観光協会と住民が対立することを観光協会は望んでいない。JR 東海には今後も土曜日運休をしても工期が延伸しない企業努力をお願いしたいと要望がありました。

⑦ 公共事業等によるリニア発生土活用実績について

- 村では、村内の公共事業・災害復旧事業にリニア発生土を活用しました。

	工事名等	路線・箇所等	時期	土量m3	備考
①	大鹿村文化交流設備 ・ろくべん館改修工事	・ろくべん館 建設地	R4年3月	656	仮置き場 E（小渋川変電所） より運搬
②	R3.8月豪雨による災害 ・林道施設災害仮復旧	・（林）釜沢線	R3年10 月～11月	92	除山非常口（土砂ピット）・ 仮置き場 B（三正坊）により 運搬
	計 2 箇所			748	

○次回（第24回）開催日程等について

- 次回開催時期を令和4年6月21日の週とし閉会しました。